

令和7年度岩手県立花泉高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

日時：令和8年2月16日（月）15：30～17：00

出席者：

協議会委員 菅原美穂（一関市役所花泉支所地域振興課長）

協議会委員 佐々木俊郎（花泉ロータリークラブ会員）

協議会委員 千葉仁（花泉中央振興商店街協同組合理事長）

協議会委員 佐藤千恵子（本校同窓会長）

協議会委員 齋藤禎弘（本校PTA会長）

協議会委員 佐々木俊昌（本校PTA健全育成委員長）

協議会委員 佐藤拓史（花泉中学校長）

校長、副校長、教務主任、総務主任、進路指導主事、保健主事

次第

1. 開会（副校長）

2. 校長あいさつ

3. 学校運営協議会委員及び学校職員自己紹介

4. 協議（議長：菅原美穂 様）

（1）令和7年度花泉高等学校の学校運営・活動報告について

ア 令和7年度学校概況説明・学校評価結果について（副校長）

- ・資料1に基づき説明。
- ・在籍生徒数は91名。挨拶や生活態度は概ね良好で、学校生活に主体的に取り組む様子が見られる。
- ・学校評価では多くの項目で概ね高評価を得た。一方、学習面における自己評価は相対的に低い傾向が見られた。
- ・小規模校の特性を生かし、きめ細やかな指導を継続している。
- ・1年生の「情報I」「地理総合」については双方向型遠隔授業を実施しており、次年度も継続予定。
- ・校外活動も活発であり、延べ200名がボランティア活動に参加した。
- ・花プロについては地域協力のもと、充実した活動が実施できた。

イ 令和7年度各課活動報告

●総務・生徒指導課活動報告について（総務主任）

- ・資料2に基づき説明。
- ・生徒の挨拶の活気が以前より低下しているため教職員が率先して働きかけていく必要がある。
- ・生徒間トラブルについては、相手の立場を考えた言動ができるよう指導を継続する。
- ・いじめに関しては早期発見・指導ができた。
- ・整容状況は概ね良好。
- ・文化祭を二日間開催としたことで、余裕ある計画が可能となったが、次年度以降の財源確保が課題である。

- ・教育相談委員会は次年度より学年からの要請に応じて開催する方式へ変更予定。
- ・創立 80 周年に向け、準備委員会を立ち上げて準備を進めている。

●令和 7 年度教務課活動報告（教務主任）

- ・資料 3 に基づき説明。
- ・家庭学習に関するアンケート結果が低いですが、学習習慣そのものが全く無いわけではなく、家庭学習の定義について検討の余地がある。
- ・一斉指導が難しい生徒への支援として「かがやき支援員」が有効であり、次年度も配置を要望する。
- ・BYOD 対応として学習支援システム「すらら」を導入し、基礎学力向上を図る。
- ・オンライン授業は、今年度は希望者不在のため未実施。
- ・花プロ発表会（花泉中学校）では、生徒の達成感が見られた。
 - 【委員】 少人数クラスを可能にしている仕組みがあれば教えていただきたい。
→主要教科で少人数指導を行うための教員配置申請を行っている。
 - 【委員】 かがやき支援員とは何か。
→特別な支援が必要な生徒への個別対応支援を行う制度であり、数年前から導入している。

●令和 7 年度進路指導課活動報告（進路指導主事）

- ・資料 4 ページをもとに説明。
- ・精神療育手帳を活用した就職事例が近年見られ、学校全体での支援体制強化が必要である。
- ・外部イベントへの参加を促し、視野拡大に努めるとともに、外部機関との連携を継続する。

<全体に対する質疑・意見>

- 【委員】 校長あいさつの中で「生徒が学校に戻れた」というのはどういうことか。
→中学校時に不登校だった生徒が高校で登校できるようになったケースを指す。
- 【委員】 花プロ中学校訪問は、普段あまり接する機会のない高校生と交流することで、中学生にも良い刺激となり、ありがたい試みだった。
- 【委員】 中学生と高校生の発表を見て、高校 3 年間の成長を感じた。中学生の指針にもなる良い取り組みだったと感じている。
- 【委員】 「人と違うことが尊重される雰囲気がある」とはどういうことか。
自分の意見が尊重されていると感じることはとても大切なこと。「人と違う」という文言は誤解を招きやすいのではないか。
→昨年度との比較上、既存のアンケートの表現を用いた。生徒たちを見てみると、高校三年間を通じて得意不、得意の場面によって、お互いサポートし合うという関係づくりができるようになってきていると感じている。

(2) 令和 8 年度学校経営計画（案）について（校長）

- ・別紙資料をもとに説明。4月以降に変更する可能性があることをご承知おきいただきたい。
→承認

(3) その他

5. 意見交換

- 【委員】学校の様子を知る機会となり良かった。
- 【委員】数値評価のみでは負担が大きくなる可能性があるため、他の評価方法も検討すべき。
駅前のイルミネーションの協力を感謝している。来年度以降も続けていけたらと思う。
- 【委員】家庭学習の捉え方について、公共施設等での自主学習も評価対象とすべき。
- 【委員】生徒同士が互いを認め合う雰囲気を学校運営においても大切にしてほしい。
- 【委員】学校の取り組みやそれによる良い環境に感謝している。
- 【委員】中学生で、地元に残りたいという生徒が年々少なくなっている。高校生が地域と密接に付き合い、かつ地元の良い印象を持っているというのはとても素晴らしいことだと感じている。
- 【委員】日ごろから地域活動への協力を感謝している。改善点についても明確に捉えられているため、来年度以降ぜひ改善につなげていただきたい。

6. その他

- ・令和8年度学校運営協議会委員の選出について
花泉ロータリークラブから新たな候補者の推薦があった。
- ・本校副校長より
次年度の委嘱については改めて連絡する旨の説明があった。

7. 閉会